

最終処分場の延命化

本市唯一の最終処分場である新内陸最終処分場は、平成 12 年 9 月から埋立を開始しており、総埋立容量 939,000m³ に対して、埋立残余容量は 396,780m³（平成 27 年 3 月 13 日現在）となっている。

1 現在のまま埋立を継続した場合

平成 43 年度 埋立終了予定

2 千葉市一般廃棄物処理施設基本計画（案）※

平成 49 年度 埋立終了予定（現在のまま埋立を継続した場合と比較して 6 年間の延命）

※他施設の焼却灰や不燃残渣についても資源化が図られて最終処分量が減少

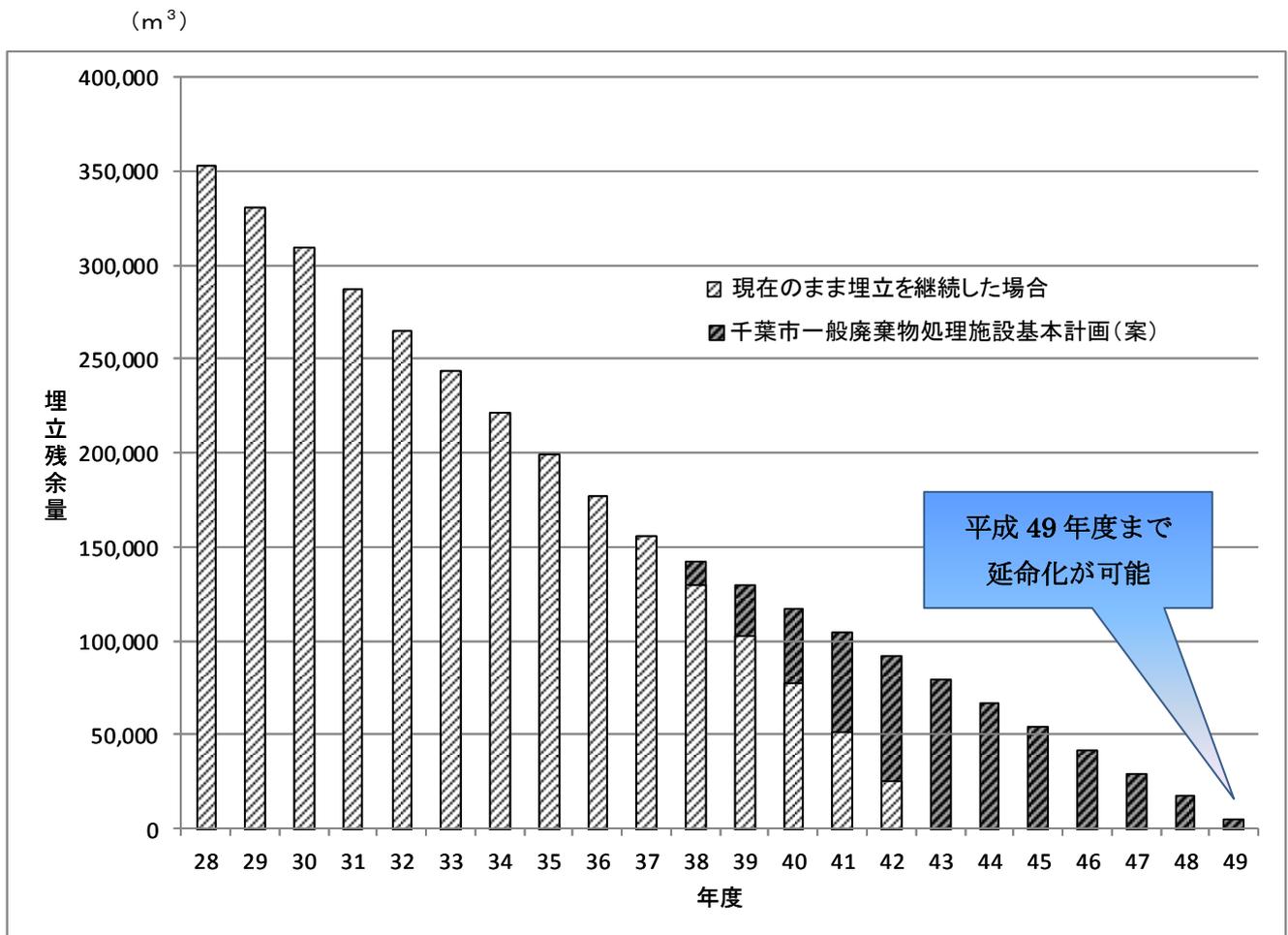


図 埋立残余量の将来推計